

⚠️ 警告 ご使用前に必ずお読みください。

このたびはコテライザー90 auto IIをお買い上げいただき誠に有難うございます。本品はボタンガスを使用した熱器具です。怪我や事故を防止するため、使用方法、注意事項を読んで理解してから使用して下さい。また、この取扱説明書は必ず、保存して下さい。

使用前に

ハンドルの透明なガス確認窓を見て、液化ガスが入っていることを確認して下さい。少ない場合は、専用のガス（品番：70-59、70-60）を図のように注入して下さい。



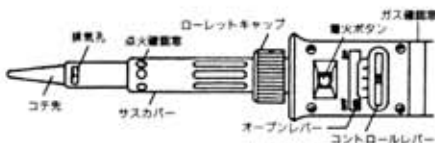
ご使用上の注意

- コテライザー90 オートIIは半田ゴテ、ホットブローとしてお使い下さい。（それ以外の使用法は保証対象外となります。）
- コテライザー90 オートII純正部品以外のご使用は固くお断りいたします。（保証対象外となります）
- ガスの注入は火器の近くなど引火の恐れのある場所では行わないで下さい。
- 換気の悪い場所では、使用しないで下さい。
- 電気ゴテ用の筒型コテ置き台を使用しないで下さい。熱がこもり、ハンドルを焦がし火災の原因になります。また空き缶などの筒状の物等をコテ置き台として使用する事も大変危険です。のでおやめ下さい。
- あやまって落としたり、ぶつけたりして強いショックを与えた場合は製造元サービスセンターに御相談下さい。（そのままお使い頂く事は大変危険です、お止め下さい）
- 燃料には必ず当社の純正ガス（品番：70-59、70-60）を使用して下さい。
- 作業の中断または、使用後は確実にガスを止めて下さい。
- 使用中に燃焼部分や高温器具等に手や身体を触れないで下さい。
- 燃焼部分に水をかけないで下さい。（故障の原因となり、思わぬ事故につながります。）
- コテライザーの分解は絶対にお止め下さい、保証対象外となります。（4点ビス、ガスタンク周りは厳禁です。）
- 溶剤等をご使用になりますとコテライザー本体のクモリ、塗装剥げ等が生じる場合があります。

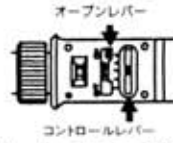
保管上の注意

- 40℃以上の所や直射日光のあたる場所には置かないで下さい。
- 車中での保管、特にフロントガラス等の窓のそば及びトランクルーム内の保管はおやめ下さい。ガス圧が高くなり、火災・爆発の原因になります。
- 幼児の手の届かない所に保管して下さい。
- コテ先及びホットブローが冷えたのを確認して収納して下さい。
- ガスコントロールレバーは5の位置（ガス最大位置）に必ず戻して保管して下さい。
- オープンレバーはOFF位置で保管して下さい。

半田ゴテとして使う場合



- 図のように、排気孔と着火ボタンを同一の向きにして使用します。
注意：排気孔からは熱風が出ますので、身体や物が触れないよう注意して下さい。



- コントロールレバーを3の位置に合わせして下さい。
● 暑い時期/場所：コントロールレバー3から左側に
○ 寒い時期/場所：ガス注入直後はコントロールレバー3から右側に動かして調節して下さい。
- オープンレバーをONの位置にして下さい。



- 着火ボタンをゆっくり押して下さい。数秒後点火確認窓が赤くなり、触媒反応のみとなります。（もし着火しなかった時は、もう一度着ボタンを押して下さい。）



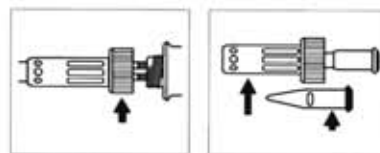
- コテ先の温度は、ガスのコントロールレバーで調節します。



- 消すときは、ガスのオープンレバーをOFFにします。○注（コントロールレバーではガスは止まりません。）
※コントロールの最大、最小位置でのご利用はガス量の状況を見て行って下さい。生ガス（液状ガス）が出る場合は温度が上がらない、またエゼクターが詰まり易くなる場合がありますのでご注意ください。

ホットブロー（熱風器）

として使う場合



ハンドル上部のローレットキャップを右にまわし、サスカバーと共にコテ先をはずします。サスカバーにホットブローチップを取り付けると熱風器になります。操作方法は半田ゴテと同じです。

○注 先端から熱風が出ますので身体や物が触れないよう注意して下さい。

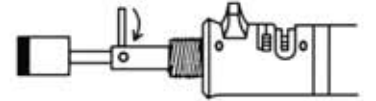
エゼクターユニットの交換方法

ガスが詰まった時やセラミックが破損した時には、エゼクターユニットを交換します。
＜取りはずし方法＞

- ローレットキャップを右にまわして、コテ先をはずして下さい。

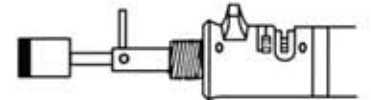


- 付属の棒スプナを穴に差し込み右にまわすとエゼクターがはずれます。



＜組み立て方法＞

- 新しいエゼクターユニットを元の位置に差し込み、付属の棒スプナで左にまわして軽く締めてください。



- ローレットキャップを左にまわしコテ先の排気孔を上にして正しく取り付けます。



* 白い部分はセラミック製ですので取り扱いに気を付けて下さい。